

第4回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ 応募用紙

FAX:059-224-2270 (三重県少子化対策課あて)



第4回

ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ



募集!

わが家の“パパの子育て”教えて!

応募者情報		
お名前	ふりがな	電話番号(日中の連絡先)
ご住所	〒 —	電子メールアドレス

推薦いただく男性に関する情報			
お名前	ふりがな	子どもの年齢は?	電話番号(日中の連絡先)
ご住所	〒 —		電子メールアドレス
育児の対象	<input type="checkbox"/> 自分の子 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他	応募者との関係	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 親戚 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 同僚 <input type="checkbox"/> 上司 <input type="checkbox"/> 所属企業の経営者 <input type="checkbox"/> その他 ()


応募部門 (応募する部門に☑をつけてください。複数選択可)	
<input type="checkbox"/> ① パパの育休部門	<input type="checkbox"/> ② みんなの子育てエピソード部門
育休期間 日間 (ヶ月間)	※エピソードの参考に中面をご覧ください。
育休取得時の子どもの年齢	<input type="checkbox"/> ③ わが社のイクボス部門
エピソードなどを具体的に記入してください。(字数制限はありません)	
※取組のわかる資料や任意の様式に記載いただいたものを添付していただいてもOKです	

同時開催!	撮影時のエピソード
みえの育児男子フォトコンテスト	
推薦いただいた男性と子どものお気に入りの写真、撮影時のエピソードを添えてお送りください。(表彰式にて「みえの育児男子ベストショット賞」として紹介します。)	

下記のいずれかの方法により応募ください。

① 応募フォームによる応募の場合
 WEBサイト内の応募フォームより必要事項をご記入の上、送信してください。
 URL: <https://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/uketsuke2/dform.do?id=1494570578466>

② FAX・郵送による応募の場合
 応募用紙に必要事項をご記入の上、送信(送付)してください。
 FAX送信先: 059-224-2270 / 送付先: 〒514-8570 三重県少子化対策課あて(住所記載不要)
 ※FAXによる応募の場合、「みえの育児男子フォトコンテスト」用の写真データは、応募者名等を明記の上、記録メディアに入れて郵送していただくか、メールに添付(3.5MBまで)して送信してください。 Mail: shoshika@pref.mie.jp



※選考にあたっては、電話や面談等により推薦内容についての確認をさせていただくことがあります。
 ※ご記入いただいた個人情報は、本事業実施にのみ使用し、それ以外の目的では使用いたしません。
 ※ご紹介いただいた内容や、お送りいただいた写真等は、表彰式や男性の育児参画推進に関する事業の中で、活用させていただきます。
 ※お送りいただいた写真や資料等は返却いたしかねますので、ご了承ください。



募集部門 みんなの“パパの子育て”エピソードを募集します!

- 01 パパの育休部門**
 取得のきっかけや仕事面での工夫、育休前後でこんな変化があったなど育休を取得したパパのエピソードを大募集!
- 02 みんなの子育てエピソード部門**
 短時間でできる家事・育児、仕事と家庭の両立の工夫など男性の育児にまつわるエピソードを大募集! ちょっとしたエピソードでも大歓迎です!
- 03 わが社のイクボス部門**
 職場で部下の仕事と家庭の両立を応援してくれるステキな経営者・上司・先輩など男女を問わず大募集!

応募資格 三重県内に在住または通勤・通学をしている方(男性・女性問わずご応募いただけます。)

審査・表彰 より多くの共感を得られた方々を、第4回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」大賞及び部門賞として表彰します。(表彰式の詳細は、後日お知らせします。)

問い合わせ 〒514-8570 津市広明町13
 三重県健康福祉部子ども・家庭局 少子化対策課
 TEL: 059-224-2304 FAX: 059-224-2270
 Mail: shoshika@pref.mie.jp
 詳しくは [みえの育児男子プロジェクト](#) 検索 🔍

応募の詳細は裏面をご覧ください

応募締切 平成29年8月31日(木)必着

大賞に選ばれた方には家族で楽しめる宿泊券をプレゼント!

第4回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえって?

三重の男性のさまざまな育児エピソードや部下の仕事と家庭の両立を応援するイクボスを募集し、みんなで共有することで、育児の楽しさや、素晴らしさを発信する企画。第4回目となる今回は、さらに多くのエピソードが聞けるよう新しい部門を加え、幅広く、ちょっとおもしろく!? パワーアップ。“子育てには男性の育児参画が大切”という考え方が広まるよう、その家族なりの方法で、子どもの生き抜いていく力を育てることを応援する取組「みえの育児男子プロジェクト」の一環として実施するものです。

第4回目は新しい部門が登場します! //

01 パパの育休部門

育休中にどんなことをした?
ハブニングや工夫したことなど
育休中のエピソードを大募集!



第3回ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ大賞

四日市市 杉野 雅哉パパ (夫36歳・妻36歳/子ども0歳、4歳、7歳)の例

育休を取って子どもと向き合う時間を増やしました



私の育児スイッチが入ったのは、妻が3人目の子を妊娠したときでした。3人目出産後の1か月間、私は育休を取得して自分で家事と育児をやってみたいと思いました。

イヤイヤ期の長男を耳鼻科へ連れて行ったところ、大暴れて先生を蹴ったり、治療器具を壊してしまったり... そんな長男が3回目の通院時に「お父さん、今日は僕、泣かないから!」と、治療に耐えて最後まで泣かなかった様子を見て、小さな成長をすぐそばで実感できてとても幸せを感じるとともに、勇気をもらいました。

仕事の効率もUP!



育休期間が終わってからも、毎日帰宅すると3人の子どもの風呂に入れ、ご飯と一緒に食べ、仕上げ歯磨きをして、絵本の読み聞かせをして寝かしつけるというのが私の今の担当です。これをなるべくこなせるように、「夕方6時までは家に帰る!」を目標に仕事も効率的に進めるように今まで以上に取り組んでいます。

同時開催

みえの育児男子フォトコンテスト

エピソードに併せてパパのステキなお写真を大募集!
メール・Instagramから応募できます!

応募していただいたお写真の中から
抽選で20名様に世界に一つだけの
写真入りオリジナルメモ帳をプレゼント!

抽選で20名様に
オリジナルメモプレゼント!



フォトコンテスト応募方法

Instagramでの応募方法

#第4回ファザーオブザイヤーinみえのハッシュタグをつけて、子育てにまつわるエピソードと一緒にInstagramにお写真を投稿してください。

※Instagramアカウントを非公開に設定されている方はメールから応募ください。

メールでの応募方法

必要事項(お名前、ご住所、電話番号)を明記して、お写真と子育てにまつわるエピソードをお送りください。

送付先アドレス shoshika@pref.mie.jp

02 みんなの子育てエピソード部門

パパ流子育てのアイデアから
幅広い“パパ話”を聞かせて!

10分(短い時間)子育てエピソード
多忙なパパたちのちょっとお助けになれるような
10分小ネタを大募集!



朝の1分 大切なコミュニケーション
子どもの今日の予定を聞く
子どもと接する時間が少ないので、
毎日「今日は学校で何するん?」と聞くことを
日課にしています。

Thank you papa
普段の生活の中でパパがママにしてくれた、
本当にうれしかったことを募集!

何も言わず、そっとコーヒーを
淹れてくれたとき。
疲れていたのに、気遣いが
うれしかったです。



オレ流! 趣味の楽しみ方!
家族公認! パパ流に趣味を楽しむ方法を募集!



サッカー
一緒にボール遊びをしたり、
テレビを見て「すてい〜」と
言ったりしてます。

趣味のスノボに行くときは、
早めに帰ってきて、
夕飯は家族で食べる
ようにしています。
すると、ママも快く送り出してくれます。

音楽を子どもとできたら
と思い、身近にギターや打楽器を
置いて遊べるようにしています。

「何だったっけ?」をクイズで楽しく振り返る
思い出クイズinお風呂
お風呂の時間は、子どもとのコミュニケーションタイム。
昨日の晩ご飯のおかずや、車の中で一緒に歌った歌など...
楽しくクイズ形式で出し合って、振り返りながら遊んでいます。



昨日父ちゃん
何色の服やった?

/みどり!

★ここに書いてある以外でも、男性の子育てに関するエピソードであればOKです!

こうして両立! 仕事と育児

育児のために
「定時退社宣言」を
しました。

関係者に協力してもらい、
自分も周囲も仕事の効率
アップを実現しました。

部下の仕事と家庭の両立を応援する
イクボスエピソードも募集

